



神戸税関組織図 (明.32.4 現)

- 税関長官房
- 監視部
- 庶務課
- 徴収課
- 監査課
- 検査課
- 鑑定課
- 兵隊出張所
- 税関支署…下関、宮津、浜田、境
- 監視署…西宮、洲本、明石、尾道、
玉島、宇品、西郷、土庄、
今治、宇和島

・職員総数 247名

旧監視部庁舎

明治31年5月第二波止場の改築を機にメリケン波止場に建てられた。
昭和3年「明治天皇記念館」として諏訪山へ移築されたが、先の火災で焼失した。



明治後期のメリケン波止場と海岸通り

京橋からメリケン波止場へかけての海岸通りには、芝生が植えられ松並木が続いていた。左端の建物は神戸税関旧監視部庁舎、右端は香港上海銀行。



旧浜田出張所庁舎 (明.29.11.1 開設)

明治29年10月3日、浜田、境両港開港外貿易港となり、神戸税関管内4番目の出張所として設置された。明治30年6月税関支署となる。庁舎は、明治35年1月竣工。



旧糸崎税関支署庁舎 (明.33.6.1 開設)

庁舎は、明治43年竣工、糸崎に西洋館が建ったと近在各所から手弁当で見物に訪れたという。昭和2年12月尾道糸崎税関支署と改称。